

浅川カ三

県政だより【第49号】

平成27年6月議会 代表質問



熱き心で 全力疾走

子供たちに夢を、若者に希望を、お年寄りに安心を

本年4月の県議会議員選挙を経て、4期目の議員としての県議会がスタートしました。そして、最初の定例会である6月議会において私は、全議員の先陣を切って代表質問を行い、後藤県政の各般について質し、当日は170名を超える地域の皆様にご傍聴いただきました。

北杜市の住民の皆様への温かいご支援に、心より御礼を申し上げます。これからも初心を忘れることなく、誠意・熱意・創意・勇気を持って、熱き心で行動することをお誓い申し上げます。

さて、平成15年4月に、県議会議員に当選させていただいて以来、私は、常に住民目線で施策の推進を図ってきました。特に、道路、河川、農業施設、観光施設など、地域の産業振興や活性化に欠かせない基盤整備については、強力な取り組みを進めてきました。駒城橋の掛け替えについても、先般大きな前進がありました。また、北杜市内の農業生産の維持、農地の有効活用、更には、農業への企業参入や六次産業化などにも積極的に取り組んできました。

観光振興では、「おもてなしのやまなし観光振興条例」の制定や海外での誘致活動、観光イベントの開催など、幅広い取り組みを行ってきました。福祉・医療では、「がん対策推進条例」を制定し、これを契機にがん検診受診促進による早期発見などが患者への支援が充実してきています。

一方で、北杜市におきましては、人口減少問題や行財政改革、条例の制定も見据えたメガソーラーと自然との調和、農業従事者の育成、地域資源を活かした観光振興など、取り組まなければならない課題がまだまだあります。

更に、北杜市民の勤勉で実直な人柄や、豊かで美しい自然環境、優れた歴史、文化を、全国に世界に、もっともっと積極的に発信していかなければなりません。

この度の県議会議員の選挙戦を通じて、地域の多くの皆様から、北杜市、更には山梨県の活性化に対する様々なご意見をいただきました。

今後とも私は、こうした皆様の声を大切に、県政に対し評価すべき点は評価し、いかなる時も住民目線で、これまで横内前知事とともに育ててきた発展の芽を後藤知事とともに結実させていくため、県政の検証と提言を全力で行っていくことを皆様にお約束します。

引き続きのご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

浅川カ三プロフィール

昭和22年7月8日/浅川カ三 誕生
昭和41年/須玉商業卒業
昭和45年/拓殖大学卒業
昭和49年/昭和薬科大学卒業
昭和59年/ハケ岳青年会議所創立メンバー 副理事長
平成9年/清里小学校PTA会長

平成10年/高根町議会議員 初当選
平成13年/高根町議会副議長
平成15年/県議会議員 初当選
平成16年/清里観光振興会長
平成17年/決算特別委員長
平成18年/出資法人調査特別委員長
山梨県雪合戦連盟会長

北杜肝友会 相談役
平成19年/
農政商工観光委員長
企業会計決算特別委員長
平成20年/総務委員長
平成21年/第105代県議会副議長
北杜ライオンズクラブ 会長

オール山梨青年会議所シニア会長
やまなし観光推進機構 副会長
平成22年/県共同募金会 会長
県緑化推進機構 会長
平成23年/第120代県議会議長
産業技術短期大学校 後援会長
平成25年/ NPO法人 ボールラッシュの会 会長

一般社団法人 北杜市観光協会 会長
平成26年/予算特別委員長
県自転車競技連盟 会長
山梨県鉄道協会 会長
第10回ヤーコンサミットinハケ岳 会長
平成27年/リニア議連研究委員会 委員長

ホームページアドレス <http://www.asakawa-rikizo.net>



平成27年6月14日 900人を超える参加者を迎え、第12回のつつじ祭り清里ウォークを開催。



平成27年5月22日 美し森 環境整備・地域の観光資源を守っています。



横内知事が育ててきた発展の芽を、後藤知事とともに結実させます。



平成27年6月13日 Mt.富士ヒルクライムの開会を宣言しました。



平成27年7月11日 最新フットボール専用スタジアムの視察(長野県)



平成27年7月10日 武川町柳沢地区の皆さんに駒城橋は、平成28年度中の着工予定と報告しました。



平成27年7月15日 観光庁とDMOの指定について打合せを行いました。



平成27年7月15日 ヘルシー訪問に先立ち、ヘルシー大使館を表敬訪問、エスカル大使と面談しました。

平成27年7月13日 エネルギー地産地消政策提言案策定委員会現地視察



・甲斐市菖蒲沢



・北杜市高根町下黒澤



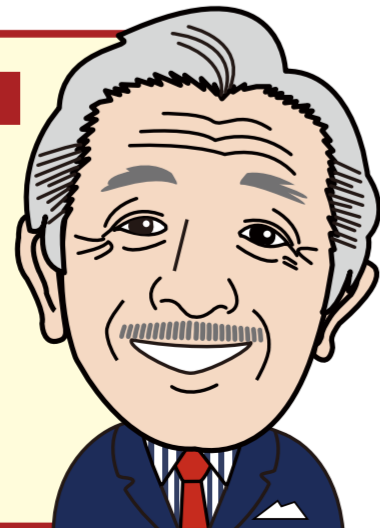
・クリーンエナジー清里の杜太陽光発電所



・北杜市高根町村山東割(ルート141)

あとがき

7月21日に、県政史上初の女性副知事として、長野県出身の新井ゆたかさんが就任しました。新井副知事は、女性ならではの視点から、知事が県政の最重要課題と位置づける、人口減少対策に関するあらゆる施策を担われることになっています。人口減少対策は、待ったなしの大きな課題と考えます。皆様の率直なご意見をお聴かせ下さい。



ホームページに掲載しています。

- 農作物等の鳥獣被害についてお伺いします。
私が「鳥獣被害対策に関する政策提言」を知事に投げかけ、被害対策の強力な推進を求めています。地元北杜市エリアの被害実態について緊急アンケート調査を実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。
<http://asakawa-rikizo.net/>
- 平成25年 C型肝炎対策について
2月の県議会にて「肝炎・肝がん対策についての5項目」を柱とする意見書を決議し、国に提出いたしました。
6月の県議会においてその決議した5項目について、県は今後どのようにするのか代表質問を行いました。
<http://asakawa-rikizo.net/pg152.html>

6月定例県議会の概要

〈6月18日～7月3日〉

山梨県議会議員 浅川力三

山梨県税条例等中改正の件

山梨県養護老人ホームに関する基準を定める条例中改正の件

山梨県児童福祉施設に関する基準を定める条例中改正の件

山梨県公営企業の設置等に関する条例中改正の件

山梨県立射撃場設置及び管理条例中改正の件

特別職の職員の退職手当に関する条例中改正の件

○本会議代表質問での質疑

私の代表質問のうち主なものは次のとおりです。

鉄道駅のバリアフリー化について

質問 鉄道駅のバリアフリー化は鉄道事業者が主体となって進めるものであり、実現するためには、県や地元市町村の考え方や姿勢が重要だと思う。本県においても、鉄道駅のバリアフリー化を積極的に推進していくべきと思うが。

答弁 国の基本方針に基づき、エレベーターの設置や段差の解消など、鉄道事業者が行う事業に対し、市町村と協力して助成を行ってきた。

今後とも、鉄道駅がより使いやすい施設となるよう、鉄道事業者や市町村と連携しながら、引き続きバリアフリー化の推進に取り組む。

県民の健康増進と医療の充実について

(1) 肝炎・肝がん対策について

質問 治験でC型肝炎の2型ウイルスが96%、1型ウイルスが100%除去されるという新薬に関するビッグニュースが先日報じられた。そこで、新薬の登場を契機として、一層の対策の推進を求めるが、いかがか。

答弁 C型肝炎は、何よりも早期発見・早期治療が大事になるため、肝炎ウイルスに感染しているかどうかの検査を呼びかけるとともに、市民講座の開催やリーフレットの配付を行うなど早期発見の促進に取り組む。

また、昨年度から、定期検査費用への助成制度を開始し、本年度は、この検査費用の助成回数を年2回に増やす。更に、5月20日より、新薬ソバルディによる治療を医療費助成の対象に加えた。

(2) CDK(慢性腎臓病)対策について

質問 CDKは、成人の8人に1人が罹患しているとされる。そこで一刻も早く、広く県民にこの病気を周知し、早期発見・早期治療に結び付け、新規透析患者をこれ以上増やさない取り組みを強力に推進すべきと思うが、いかがか。

答弁 糖尿病性腎症による人口10万人当たり新規透析患者数が全国最多であるという状況等を踏まえ、今般、早期発見、早期治療のための総合的な対策を講じることとした。

講演会の開催やパンフレットの配布などを行い、啓発に努めるとともに、市町村が行う腎機能の状況を調べるための血清クレアチニン検査等に要する費用への助成制度を設ける。

更に、専門医への紹介基準や紹介シートを作成し、かかりつけ医の



平成27年度6月補正予算について、賛成討論を行いました。

受診と専門医の治療を円滑に結びつけることにより、早期に適切な治療を受けられるようにする。

(3) 先進的な高度医療の導入について

質問 重粒子線治療にとらわれず、県議会等から提案や要望があった分野の高度医療関しても幅広く検討し、本県に必要な医療を見極めていくことが重要である。

そこで、重粒子線治療など高度医療の導入を掲げた考えと、今後の取り組みについて伺う。

答弁 本県の医療ニーズや医療資源を把握するとともに、他県で展開されている先進的な高度医療のデータを収集し、運営体制や事業スキームなどを分析する中で、どのような高度医療を導入することが適切か調査を実施する。

また、医療関係団体の代表者や有識者などによる会議を開催し、調査結果を踏まえ、本年度内には、最も効果的な高度医療の在り方を明らかにしたい。

エネルギー政策について

(1) メガソーラーと自然環境について

質問 本県では、多くの地域でメガソーラーが急速かつ膨大に設置されつつあり、自然災害への懸念や景観への影響が危惧されている。メガソーラー等と自然環境の調和を図るため、どのように取り組んでいくのか伺う。

答弁 県内のメガソーラーについては、現在37箇所が稼働するなど急速に増加し、大規模な森林伐採を伴うものもあることから、地元市町村と一体となって、自然環境への配慮や防災対策等が適切に講じられるよう、事業者に対する関係法令に基づく指導を徹底する。

更に、本年度は、ガイドラインを市町村と協議しながら策定し、メガソーラー等と自然環境の調和が図られるよう事業者へ周知するとともに、指導を強化する。

(2) エネルギー政策に関する基本構想について

質問 新たに策定するエネルギービジョンでは、本県産業の発展のため、天然ガスパイプラインなどを活用した安定電源を柱に、エネルギーの供給力を充実させる方向で検討すべきと思うが、いかがか。

答弁 高効率の天然ガスコージェネレーションシステムや、水力、バイオマス発電など出力の安定した電源の導入も進め、エネルギーの供給力の充実により、経済の活性化を図る。

また、新たなエネルギービジョンを策定していく。

浅川力三代表質問

平成27年6月22日

地域資源を活用した広域的な観光地づくりについて

質問 全県の入り込み数の約46%を富士・東部地域が占める。この観光客の広域的な偏在を解消するためにも、地域の観光資源を活用し、広域的に魅力を強化し、周遊を促すことが必要ではないかと思うが、いかがか。

答弁 本年度は、峡東地域ワインリゾート構想を、県と峡東3市、関係団体等が協働して策定する取り組みと併せて、地域資源を新たな観光資源として掘り起こすなど、魅力ある観光づくりを積極的に支援するとともに、新たな旅行商品の造成を進め、多くの観光客が県内の各観光地へ周遊するよう努める。

新たな農業施設大綱について

質問 担い手の高齢化や農地の荒廃など、本県の農業が直面する課題を着実に解決していくための具体的な道筋を示し、県民全体がその実現にチャレンジしていくことが重要である。そこで、本年度新たな農業施策大綱を策定するに当たり、今後どのように本県農業の振興を図っていくのか、伺う。

答弁 今後の目標に「儲かる農業の展開」を掲げ、特色ある県産食材の生産を積極的に推進するとともに、海外における常設の販売拠点の適地調査等に取り組む。

加えて、年内に策定を予定している新たな農業施策大綱では、農産物の高品質化や生産コストの削減、観光分野との連携による消費拡大など、農業所得向上への総合的な施策と、目標となる経営モデルをお示ししたい。

県産農産物等の海外における販売・情報発信拠点の整備について

質問 海外において更に販路を拡大していくためには、常時、農産物の魅力を発信していく拠点を整備していくことが有効である。県は、拠点整備の調査検討費を提案しているが、今後、どのように進めて行くのか伺う。



平成26年6月10日 台湾政務活動 微風広場での県産桃PR活動

答弁 海外において県産農産物等の販路拡大を図るため、果実をはじめ、野菜、畜産物、ワイン等の展示販売や観光情報の提供など、本県の魅力を総合的に発信する常設の拠点を整備したい。

拠点を整備する国については、東南アジアを中心に、明年度の開設を目指し、選定後は、設置する場所の管理者や運営を委託する事業者との協議を行う。

捕獲したニホンジカの食肉としての利活用について

質問 捕獲されたシカ肉の利活用を促進するためには、各地域においてシカ肉処理施設の整備を進めていくことが喫緊の課題であり、ジビエの有効活用のためには、先進地事例の調査等を行い、地域ぐるみで取り組む必要があるが、県では、シカ肉の利活用の促進に向けて、どのように取り組んでいくのか伺う。

答弁 各地域では、県や市町村、猟友会などから構成される野生鳥獣被害対策連絡会議において、シカ肉の有効活用について検討を進めており、特に、捕獲数が多い峡北地域では、処理施設の整備に向け、県内の先行事例の現地調査を行う。



平成27年7月14日 丹波山村のシカ肉処理施設を、峡北猟友会をはじめとする猟友会の皆さんと視察しました。

社会資本整備について

・駒城橋の整備について

質問 県道横手日野春停車場線の大武川に架かる駒城橋は、既に五十有余年を経過した老朽橋である。この老朽化した橋が無事であるかという地域住民の不安は拭いきれない。そこで、地域住民の生活を支える重要な橋である駒城橋について、どのように整備するのか伺う。

答弁 駒城橋は、橋脚が多く流れを妨げやすい構造に加え、治水上の課題があることから、早急な対応が必要と考えている。

年内に、橋梁長寿命化実施計画を見直すこととしており、今後、地域の皆様からの御意見を伺いながら、治水対策と併せた駒城橋の架け替えについて検討する。